

相談支援検討会活動報告

第4回高知市自立支援協議会

R5.2.28 障がい福祉課

1 相談支援検討会の機能

○個別事例の検証

→課題の集約・整理

※既存のサービスでは解決できないことなのかどうか多方面で検討するために、
多職種多機関で検証する。

○相談支援専門員のケアマネジメント力向上やネットワークの構築

→研修会・勉強会の企画や運営

2 令和3年度相談支援検討会委員

	氏名	所属等	依頼内容
1	田村 孝子	相談支援センター もえぎ	アドバイザー
2	中森 勇人	障害者相談支援センター西部	市委託相談センター代表
3	土門 義和	ライフ・サポート あおぞら	西部圏域代表
4	後藤 佳代	東部障害者相談センター「とも」	東部圏域代表
5	千葉 千香里	指定相談支援事業所 えだは	新任期代表
6	山田 弓令	指定相談支援事業所 ユウアンドアイ	新任期代表
7	島村 直和	指定相談支援事業所 グッドサポート	障害児相談支援代表

3 令和3年度 相談支援討会活動内容①

(1) 相談支援事務連絡会

偶数月開催： 13時30分～14時（※開催4回）

内容：事務局からの連絡事項

◇地域福祉コーディネーターの勉強会

（高知市社会福祉協議会 地域協働課）

◇バリアフリー図書の紹介（オーテピア高知声と点字の図書館）

(2) 相談支援研修会

令和3年8月30日（月）事例検討会の開催を中止。

《地域福祉コーディネーターの勉強会》

高知市社会福祉協議会 地域協働課

内容

- ◇地域福祉コーディネーター(CSW)の役割と機能について。
 - ・住民や専門職から生活の困りごと等の相談を受け、地域住民や関係機関と協力しながら解決に向けて支援を行う。
 - ・住民主体の地域福祉活動に対して、学習の機会や話し合う場の運営支援を行う。
- ◇個別支援から地域づくりへのプロセスと、CSWの活動を事例を通して学ぶ。

《バリアフリー図書を紹介》

オーテピア高知声と点字の図書館

内容

◇バリアフリー図書の案内

活字図書での読書が困難な方へ，読書をサポート。

●録音図書

活字を音声で読み上げ，CD（音声デイジー図書）やカセットテープに録音した図書。

●マルチメディアデイジー図書

パソコン，タブレット等で音声を聞きながら本の画像や文字を見る図書。

●点字図書

活字を点字に打ち直した本。凹凸のわかる地図や絵本もある。

●利用登録対象者，団体貸出サービス，図書製作など。

3 令和3年度 相談支援検討会活動内容②

(3) 相談支援検討会

毎月開催：奇数月の第4火曜日 13時30分～15時

偶数月は14時30分～16時

- 相談支援検討会開催数：9回

(年間開催目標12回中だが、コロナの影響により8月9月2月を休止。)

- 相談支援検討会打合せ開催数：5回

(4) 意見交換会

- 就労検討会との意見交換会：令和3年5月12日(水)
- 児童発達支援管理責任者実行委員との意見交換会：令和3年6月21日(月)
- 特別支援学校進路担当職員との意見交換会：令和4年1月19日(水)

※コロナの影響により中止。

《児童発達支援管理責任者実行委員との意見交換会》

目的

情報交換を行い、課題共有や連携の構築をおこなう。

参加者

児童発達支援管理責任者実行委員 3名
相談支援検討委員 7名
事務局 3名

課題等

双方の仕事を理解しながら連携を図る必要がある。
3者(本人・相談支援・サービス事業所)が同じ方向性を持って支援することが必要。
相談員の質の向上が求められている。

《特別支援学校進路担当職員との意見交換会》

※令和3年度はコロナの関係で急遽中止となったため、令和2年度を報告

目的

学校と福祉の共通課題を確認し合い、その解決に向けた意見交換を行うことで、学校と福祉の連携がよりスムーズになる。

参加者

特別支援学校進路担当教員 11名（学校数9校）
障害者相談センター東西南北（7名）
相談支援検討委員（5名）
基幹職員（5名）

課題等

生活介護の受け入れ先がない（医療的ケア児、重症心身障害児）
サービスの必要性に保護者が気付きにくい。

保護者や本人が障害受容困難。

⇒福祉相談会を開催。

学校や福祉が連携することの大切を理解した。

4 相談支援検討会の令和4年度への取り組み

- **研修の開催
(新任研修の開催)**
- **相談支援事例検討会の開催**
- **連携構築のために、特別支援学校教職員との会を継続開催**